

2018年12月期決算説明会

2019年2月28日
株式会社 **正興電機製作所**

【目次】

- 1. 2018年12月期決算概要**
- 2. 2019年12月期計画**
- 3. 中期経営計画**

1. 2018年12月期決算概要

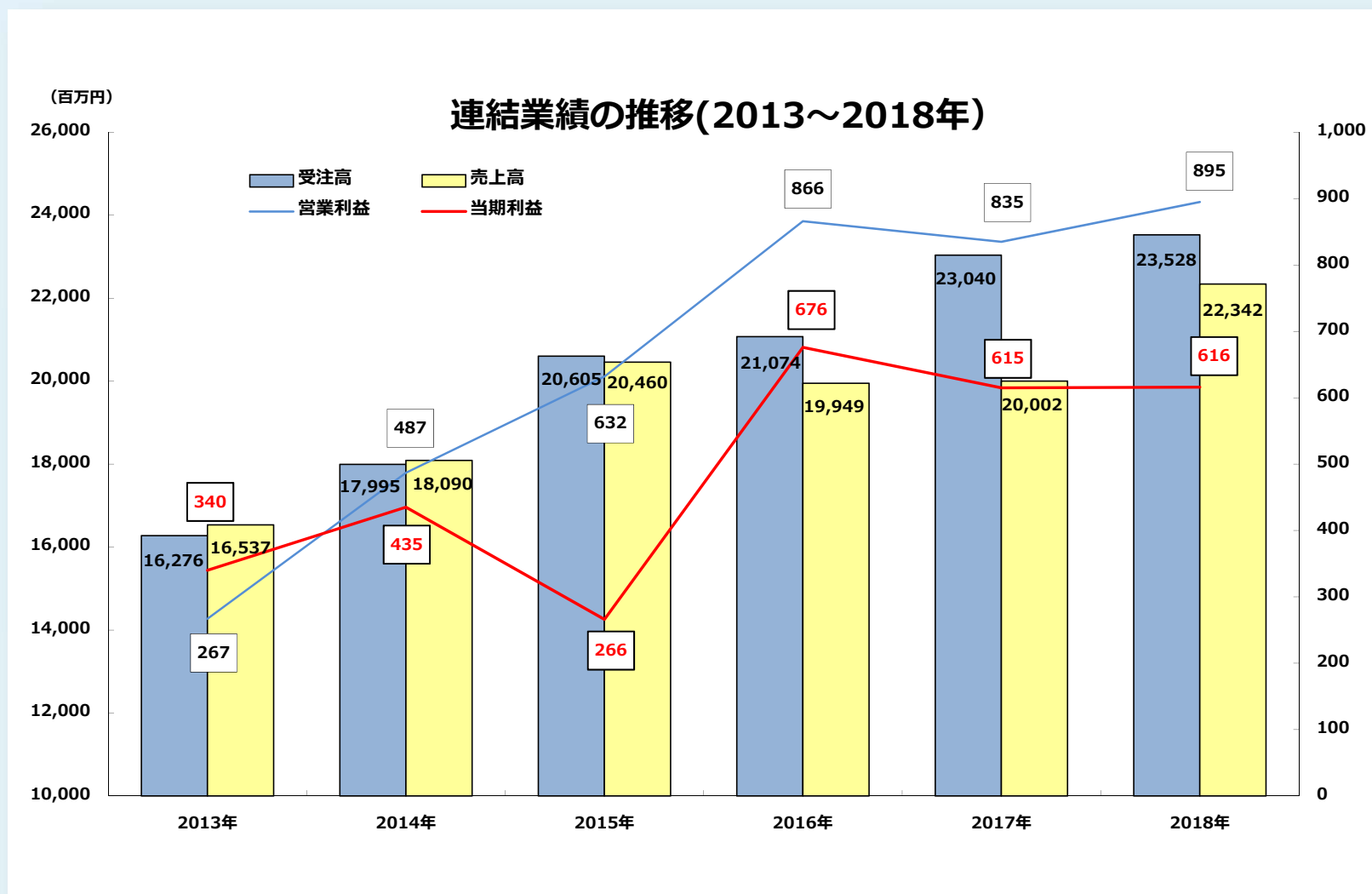
1. 2018年12月期決算概要

- 売上高は電力部門や環境エネルギー部門（公共分野）、サービス部門が堅調に推移し増加。
- 営業利益についても、電力部門、情報部門、その他部門が堅調に推移。
- 連結業績は増収増益。

単位：百万円

	2017年 12月期	2018年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	20,002	22,342	2,340	11.7%
営業利益	835	895	60	7.2%
経常利益	877	943	65	7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	615	616	0	0.1%

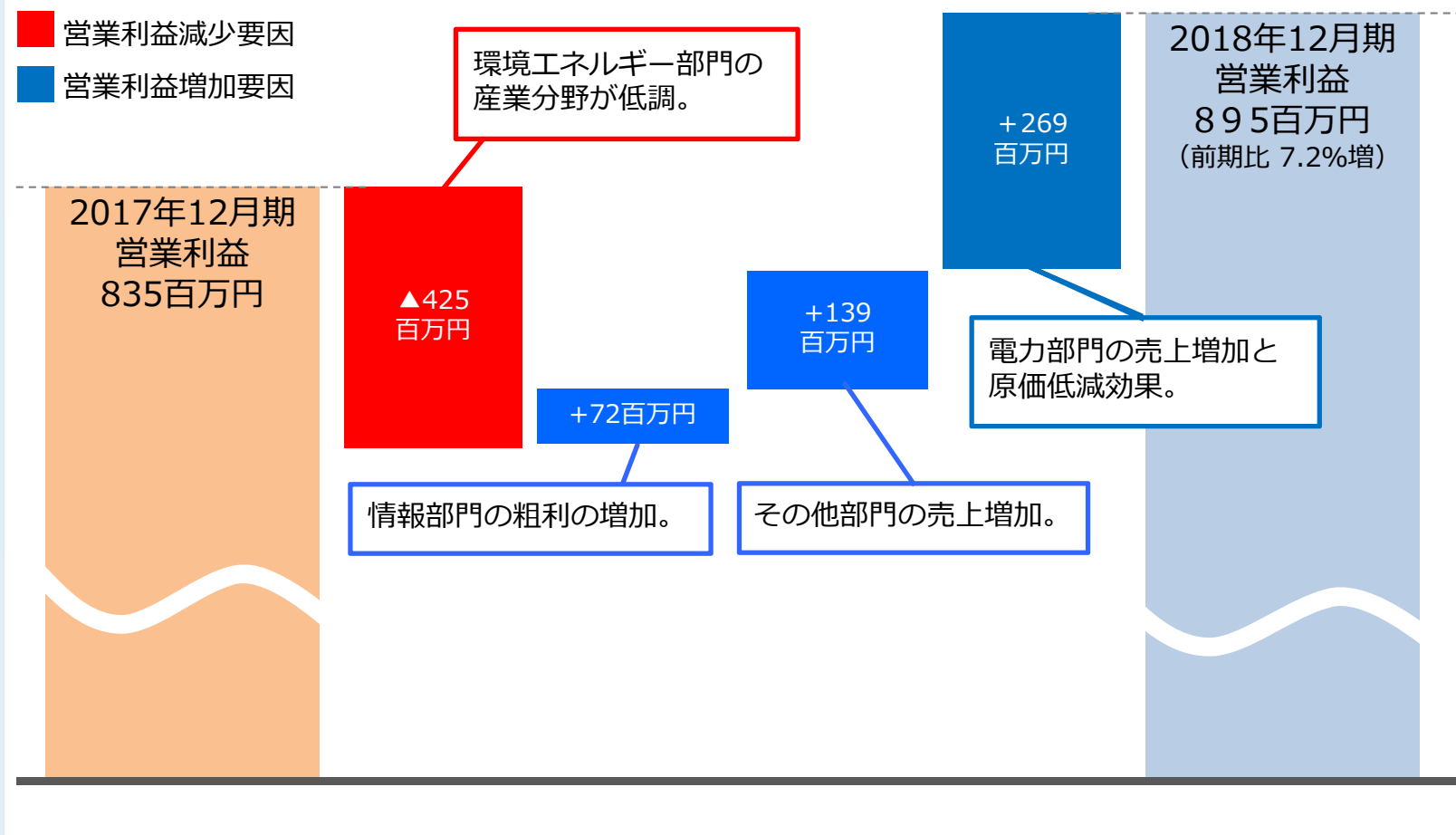
● 連結業績の推移



● 営業利益の増減要因

● 営業利益増減要因

- 営業利益減少要因
- 営業利益増加要因



● 2018年12月期セグメント別実績

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2017年 12月期	2018年 12月期	前年同期比 増減率	2017年 12月期	2018年 12月期	前年同期比 増減額
電力部門	4,334	5,003	15.4%	105	374	269
環境エネルギー部門	11,775	12,147	3.2%	660	235	△425
情報部門	1,019	996	△2.2%	23	95	72
サービス部門	1,546	2,606	68.5%	63	68	5
その他	1,326	1,588	19.7%	△17	122	139

- ✓**電力部門** 電力システム改革に対応した情報制御システム(OT・IT)や、配電設備関連製品が堅調に推移し、売上・利益ともに増加。
- ✓**環境エネルギー部門** 水処理設備向け監視制御システムや道路設備向け受配電システムが堅調に推移。
一般産業向け受配電システムの材料費率や原価率が増加。売上は増加するも利益は減少。
- ✓**情報部門** 港湾向け開発案件の受注が下期へずれ込み、売上は減少するも介護認定システムの更新需要等により利益増加。
- ✓**サービス部門** 再生可能エネルギー設備向け製品や中国での電気設備および環境設備関連が堅調に推移。
前年度受注の大口案件があった影響もあり、売上、利益ともに増加。
- ✓**その他** 発電所向け工事や電子製品の増加。また年間を通じ操業度が改善し売上、利益ともに増加。

● 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	2017年12月期末	2018年12月期末	増減額
流動資産	13,333	15,738	+2,405
固定資産	7,956	6,854	△1,102
資産合計	21,289	22,592	+1,303
流動負債	9,622	10,878	+1,256
固定負債	2,885	2,529	△356
負債合計	12,507	13,407	+899
純資産合計	8,782	9,185	+403
負債・純資産合計	21,289	22,592	+1,303
自己資本比率	41.3%	40.7%	△0.6%

● 連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)

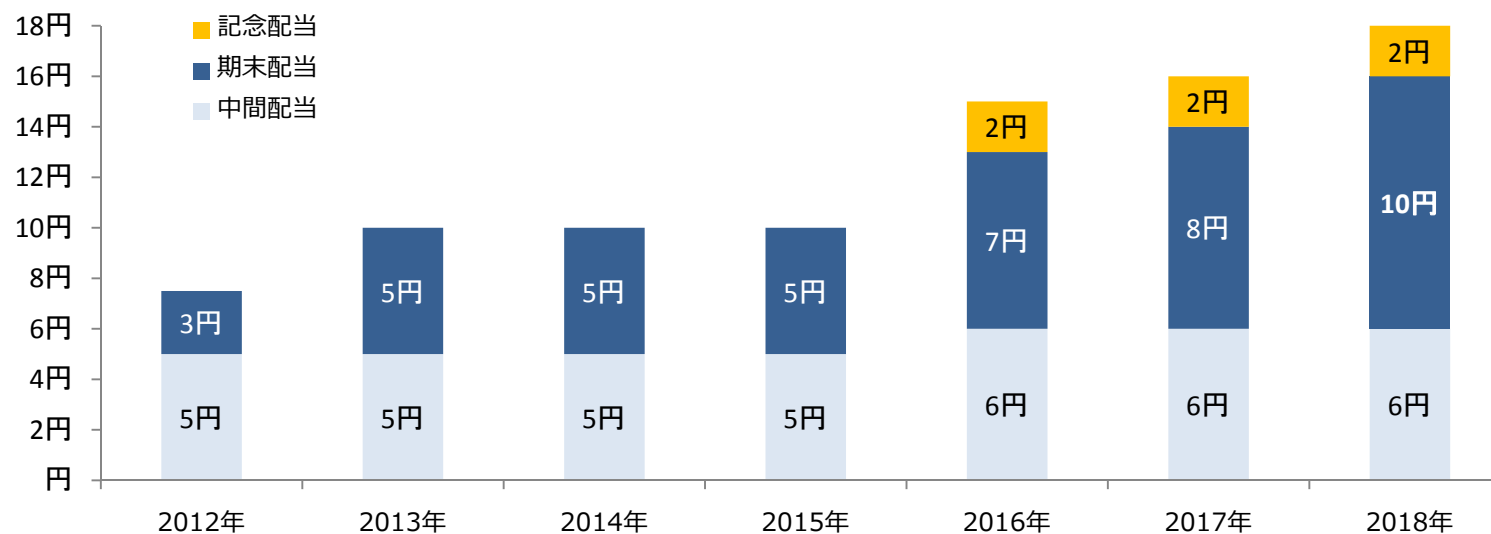
	2017年12月期	2018年12月期	増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	△592	838	1,430	官公庁向け大口案件受注による前受金の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△400	△45	355	—
財務活動による キャッシュ・フロー	654	△489	△1,143	新株式発行による収入があるも、借入金の返済により減少
現金及び現金同等物の 期末残高	1,226	1,517	291	—

● 配当について

	2018年12月期			2017年12月期（参考）		
	中間配当 （実績）	期末配当	年間	中間配当	期末配当	年間配当
1株当たりの配当金	6円	12円	18円	6円	10円	16円

期末配当：効力発生日 2019年3月12日

（注）2016年・・・創立95周年記念配当 2円
 2017年・・・東証第二部上場記念配当 2円
 2018年・・・東証第一部銘柄指定記念配当 2円



2. 2019年12月期計画

2. 2019年12月期計画

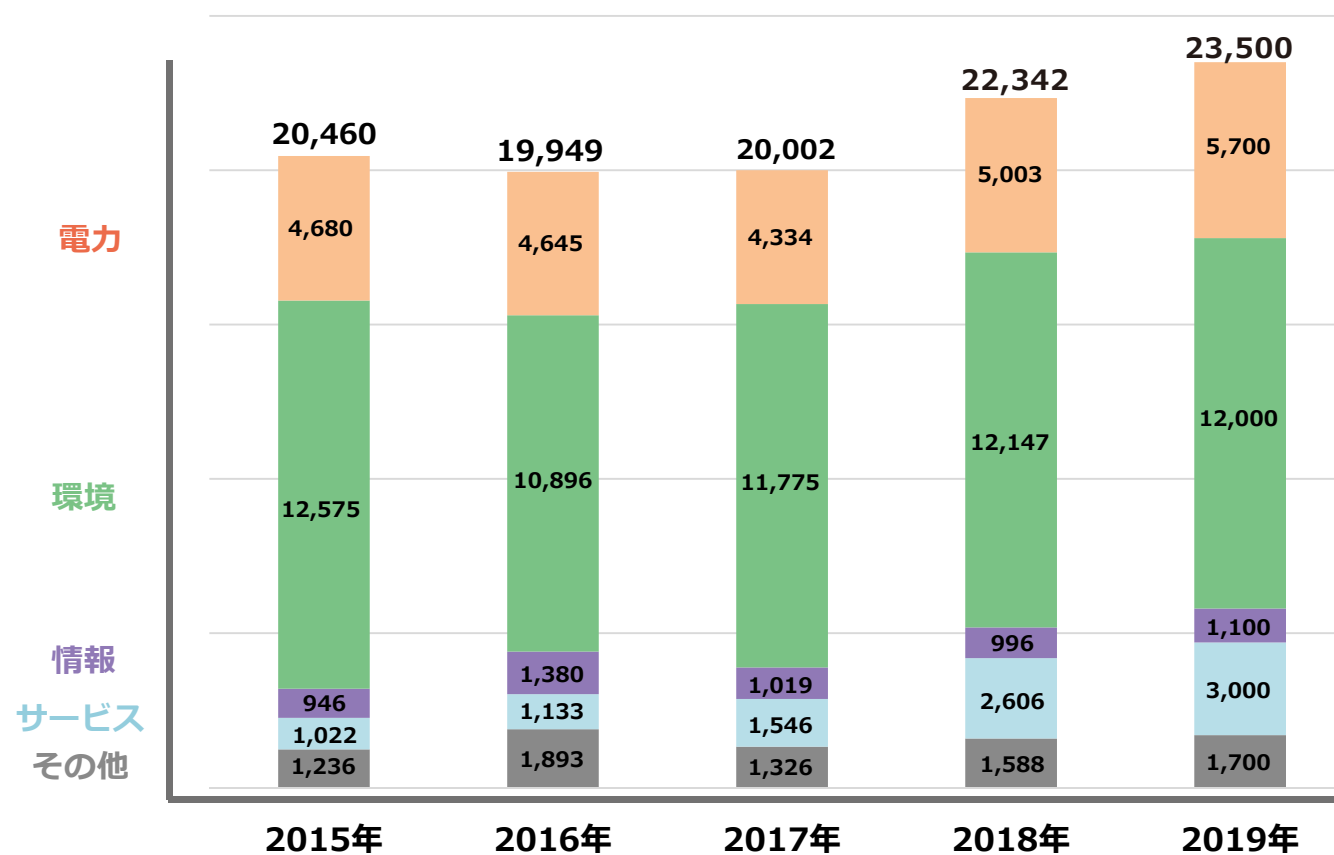
【2019年1月1日～2019年12月31日】

単位：百万円

	2018年 12月期	2019年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,342	23,500	1,158	5.2%
期首受注残高	13,330	14,504	1,174	8.8%
営業利益	895	1,300	405	45.1%
経常利益	943	1,340	397	42.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	616	900	284	46.0%

● 2019年12月期セグメント別計画

● 2019年12月期売上見通し



3. 中期経営計画

● 会社概要

商号	株式会社 正興電機製作所
本社	福岡市博多区東光二丁目7番25号
創業	1921年（大正10年）5月 創立98年
資本金	26億721万7,518円
売上高	連結223億円（2018年12月期）
従業員数	連結981名（2018年12月期末現在）

事業内容

電力会社・官公庁・産業会社向けを主とした受変電設備・制御装置・
情報システムの製造販売（電力部門、環境エネルギー部門、情報部門、
サービス部門、電子制御機器・オプトロニクス部門、その他部門）

● 会社概要

国内営業拠点

福岡本社・古賀事業所・東京支社
営業所全国16箇所

国内子会社（5社）

正興C & E
正興ITソリューション
正興サービス&エンジニアリング
正興電気建設
トライテック



■ 本社 福岡



■ 東京支社



■ 古賀事業所 福岡県古賀市
（開発および主力工場）

● 会社概要

海外子会社

4 社（大連・北京・マレーシア・フィリピン）

海外支店・事務所

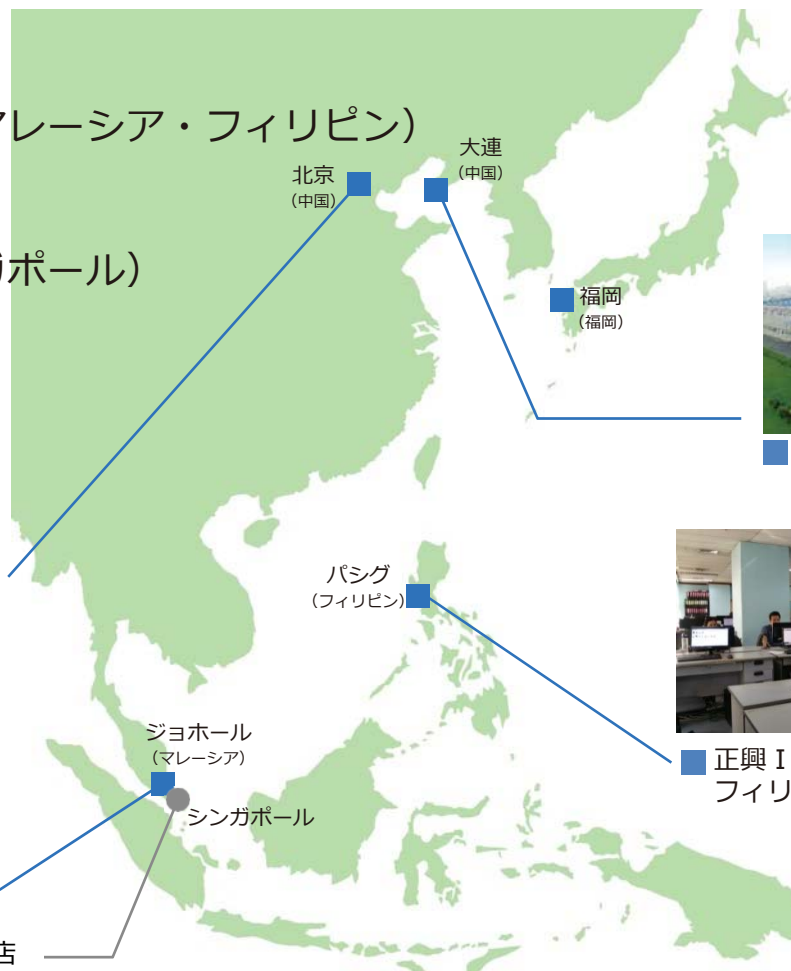
2 箇所（北京・シンガポール）



■ 北京正興聯合電機有限公司
北京事務所



■ 正興エレクトリックアジア
（マレーシア）
シンガポール支店



大連
（中国）

北京
（中国）

福岡
（福岡）

パシグ
（フィリピン）

ジョホール
（マレーシア）

シンガポール



■ 大連正興電気制御有限公司

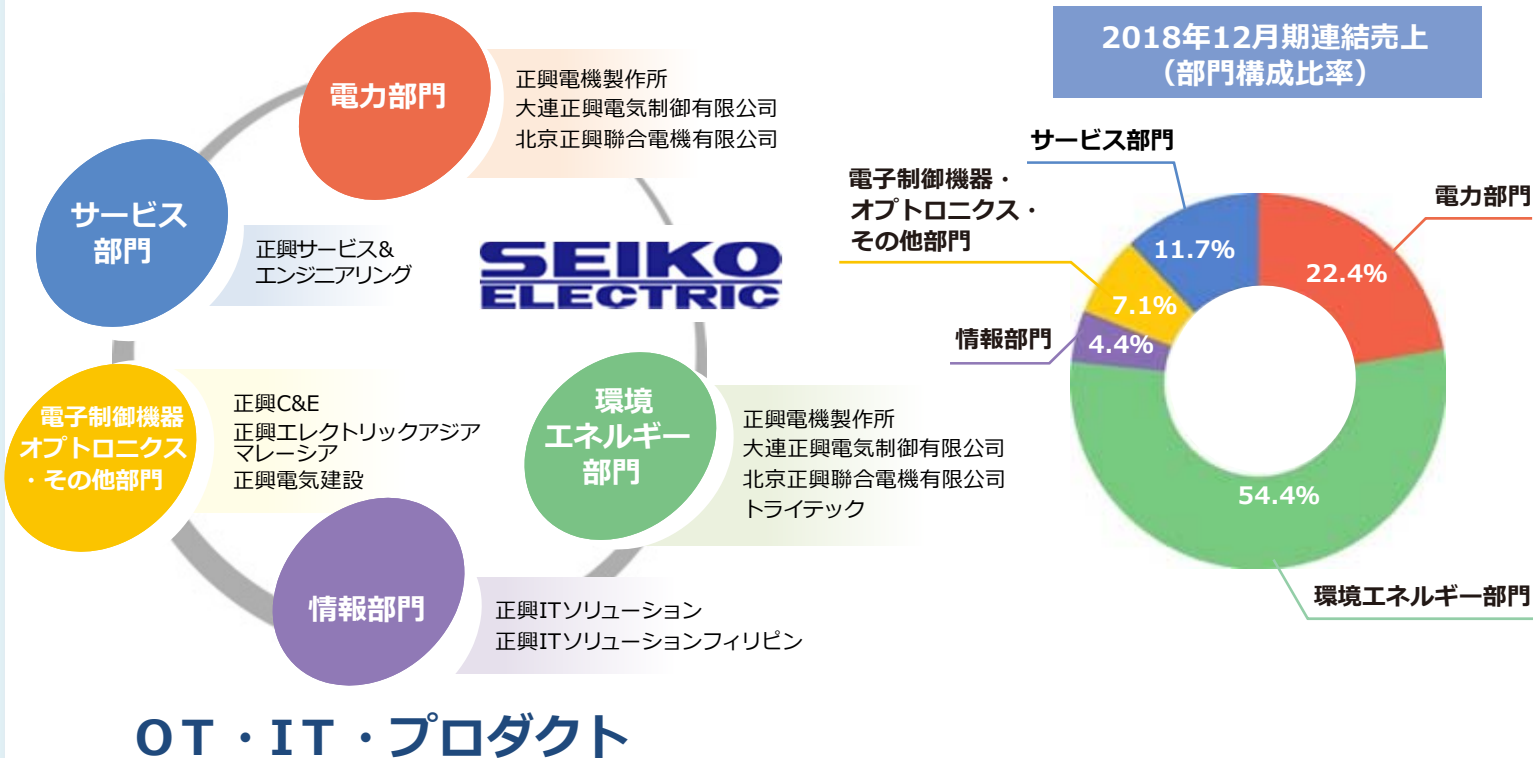


■ 正興 ITソリューション
フィリピン

● 会社概要

事業紹介

正興グループは、情報と制御の独創技術を中心に幅広い分野で事業を展開しています。



3. 中期経営計画

●中期経営計画 SEIKO IC2021(2018～2021年)

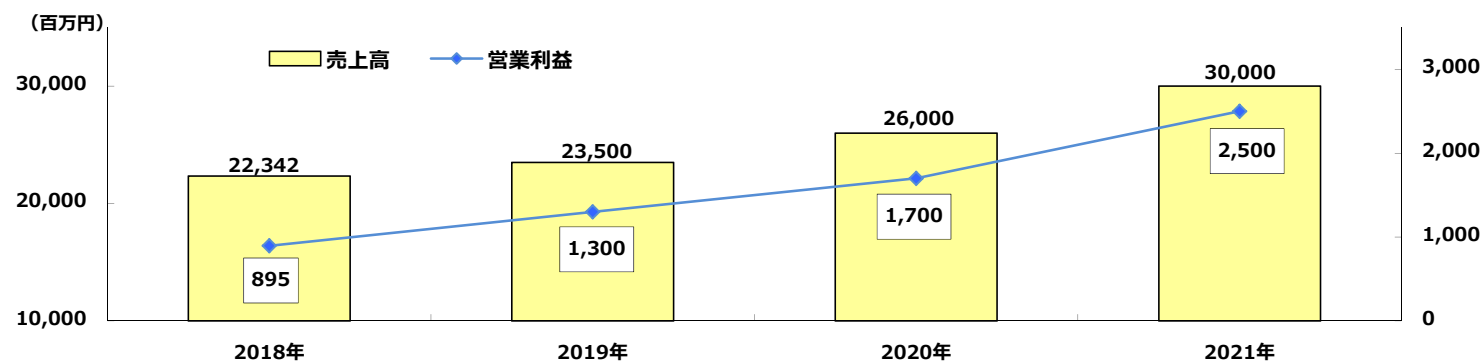
～国内をベースにアジアで成長する正興グループ～

- ・ 創立100周年（2021年）に向け、「事業の拡大」、「高収益体質への転換」を実現。

<経営目標>

単位：百万円

	2018年	2019年	2020年	2021年
	実績	計画値	計画値	計画値
売上高	22,342	23,500	26,000	30,000
営業利益	895	1,300	1,700	2,500
ROE	6.9%	8.5%	9.4%	12.7%



●電力部門 （重点取組）

電力システム改革へ対応した製品、システムによる事業の拡大

- OT・IT技術による情報制御システム事業の拡大
- IoTを活用した操作支援システムの全国展開

情報制御システム事業

総合制御所システム



電力システムを監視、遠隔操作を行い、電力を安定供給。

配電自動化システム



配電線の常時監視。配電機器などを自動制御し、電力の融通や停電時間を短縮。

IoTシステム

操作支援システム



変電所などの設備保全業務を効率化。また、ヒューマンエラーをRFID技術を活用し未然に防止。

●環境エネルギー部門

環境・エネルギーソリューションによる社会インフラ事業の拡大

- 公共分野（水処理・道路設備）における工事施工体制強化
- 環境、省エネ、再生可能エネルギー分野の事業拡大
- パワエレ技術を活用した正興独自の新製品・システムの創出

公共分野

■ 水処理監視制御システム



水処理（浄水・下水）処理設備の運用を監視、コントロール。水処理設備の運用をサポート。

再生可能エネルギー

■ コンパクト小水力発電システム



- ・ 小水力発電に必要な機械、装置のワンパッケージ化を実現
- ・ トータルコストの削減 ・ 遠隔監視機能も可能

パワエレ応用製品

- ・ エネルギーの地産地消
- ・ 再生可能エネルギーの活用
- ・ 省エネ、ピークカット
- ・ 災害時電源



- 家庭用蓄電システム
（リチウムイオンバッテリー）
* 納入実績：約7000台

● 中容量蓄電システム



クラウド・IoT・AIを活用したサービス事業の拡大

- 港湾サービス分野の拡大展開

コンテナ管理システム（国内シェアトップ）および物流管理システムの拡大

- ヘルスケアクラウドサービス事業（健康管理）の拡販の拡大

港湾システムソリューション



健康管理ソリューション



●海外事業（中国・ASEAN市場）

（中国市場）

損保会社と連携したメンテナンスおよび環境対策事業の拡大

●電気設備メンテナンス事業の拡大展開

- ・電気設備の老朽化に伴う火災の頻発、法整備化
- ・日系企業を中心とした展開

●環境ソリューション事業の展開（空気、水、土壌など）

- ・空気（VOCs） 揮発性有機化合物の規制対応
- ・土壌汚染対策 再開発区域の浄化、調査・修復
- ・排水処理装置、水処理関連商品

電気設備メンテナンス



VOC対策(空気)



大連正興電気制御有限公司



● 海外事業

(ASEAN市場)

海外拠点（シンガポール、マレーシア、フィリピン）を中心とした
ASEAN市場への展開

- 制御・電子機器製品、正興グループ製品の拡販および
メンテナンス事業の展開
- 情報システム事業の拡大（日系および大手企業）
 - ・ 生産管理システム（IoT）
 - ・ 基幹業務システム

正興 ITソリューションフィリピン



- 生産・在庫管理システムの導入・運用
- 基幹業務および会計システムの導入、運用
- ネットワーク構築・セキュリティ対策
- オフショア開発

正興エレクトリックアジアマレーシア



- 制御・電気機器製品の製作および販売
- ASEAN諸国向け、グループ製品、システムの販売



●新事業 ～ 液晶事業 ～

パーテーション市場での競争力強化と新たな用途による市場創出

- オフィス（会議室、応接室、役員室）、工場、管制室、クリーンルーム、医療施設などパーテーション市場での競争力強化、シェア拡大
- 新たな用途・新素材開発による市場の創出（車両、エコ建材、アミューズメントなど）

<調光フィルム (SILF®)>

- 電源のON/OFFで、透明/白濁を瞬時に切替えることができるフィルム



造作および各種パーテーションのフレームに対応



貼るタイプは、曲面にも貼り付け可能

●新事業 ～ロボットを活用した巡回点検、監視システム～

電力会社向け 巡回点検ロボット：発電所・変電所

自動で巡回点検を実施し、人間と同等以上の点検能力で設備異常を検知する機能



・電力会社向け火力発電所にて共同研究実施予定

●自動走行

- ・決められた点検ルートを自動で走行
- ・段差等がある悪路での走行可能

●高度な点検能力

- ・人間の五感以上の点検能力がある

●異常検知能力

- ・得られた点検情報から、高精度に異常の有無を判定

各種施設向け 警備ロボット：病院・商業施設・警備会社への導入



自動パトロール、AIによる識別・測定機能を搭載した総合的な機能

- パトロールシステム・・・自動ナビゲーション、自動パトロール、自動充電機能
- 学習システム・・・侵入者の防犯、扉開閉点検、障害物検知
- 感知システム・・・360度全方位識別、音声サポート、火災警報

(注記)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。

実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。